



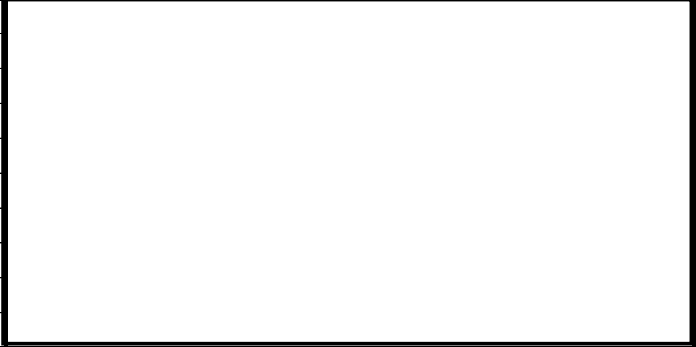
建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

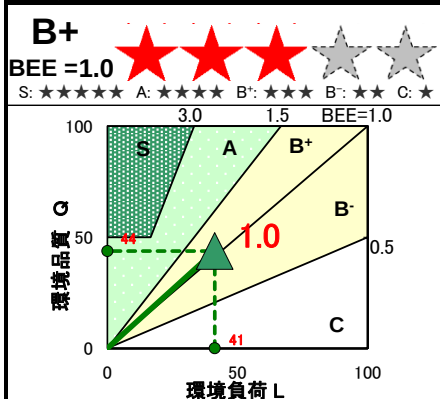
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市北区同心2丁目プロジェクト	
建設地	北区同心2丁目	
建築用途	集合住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	394.12	m ²
建築面積	224.48	m ²
延床面積	2,783.83	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上15階
完了年(予定)	2020年10月	

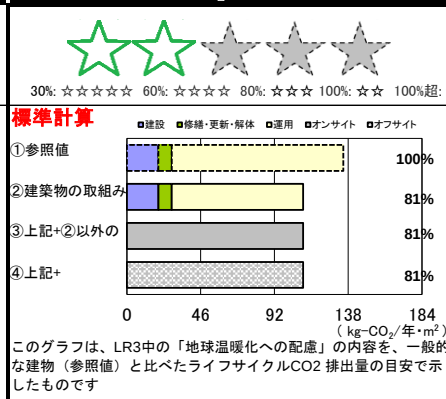
1-2 外観



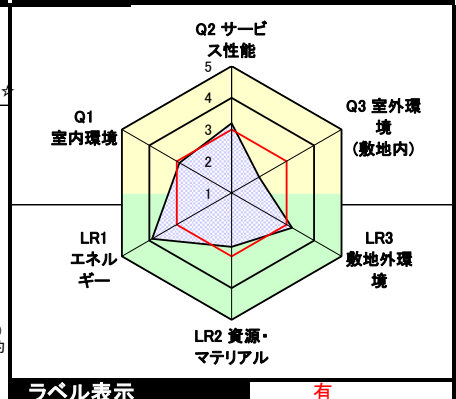
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



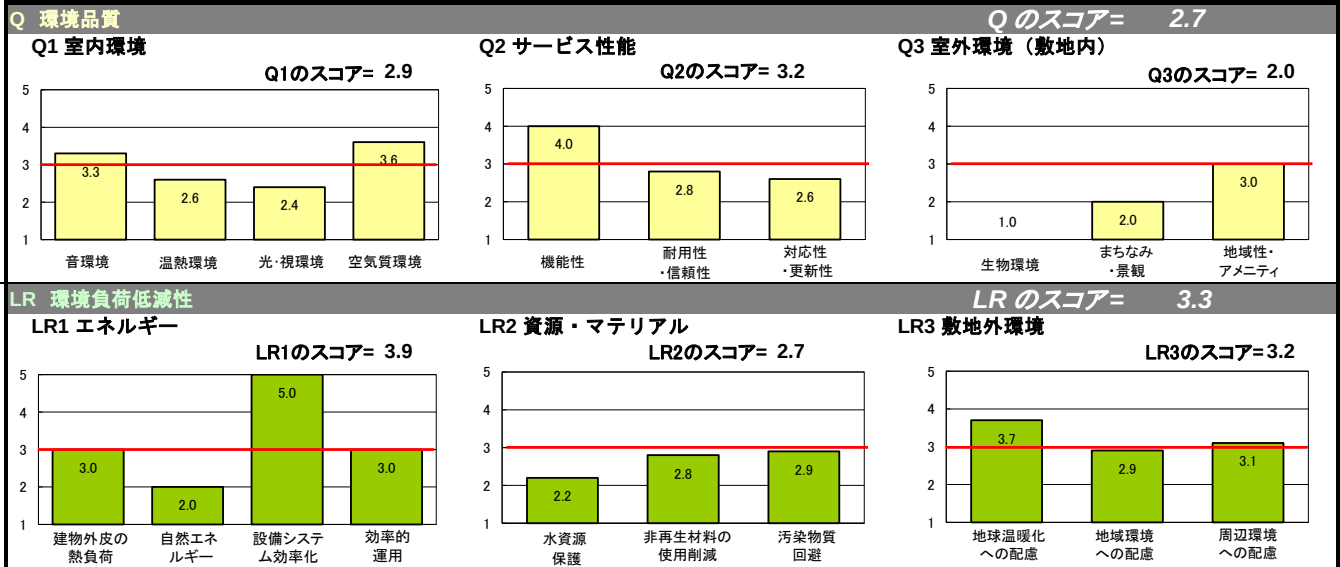
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 特になし。		その他 特になし。
Q1 室内環境 居室のサッシはT-2サッシを採用し外部からの騒音に配慮した。	Q2 サービス性能 各住戸にGbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境を整備した。	Q3 室外環境（敷地内） 特になし。
LR1 エネルギー 住戸の非居室の照明には、すべてLED照明を配置した。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 駐輪設備を十分に計画し周辺に違法に駐輪するようなことがないように配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.7 ライフサイクルCO ₂ の削減
配慮事項	ライフサイクルCO ₂ が一般的な建物より少なくなるよう計画した。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0 特になし
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0 特になし
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0 特になし
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 3.0 高性能断熱材の選定
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 5.0 高効率設備の選定
配慮事項	一次エネルギー消費量を抑制できるよう高効率な設備を選定した。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級3 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.81	住宅部分[BEI] 0.81	非住宅部分[BEI][BEIm] -

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 44 ） m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ） 高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 51.4 ） m ² 方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ） 度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 20.6 ） m ²
ウ 設置可能容量	（ 3.1 ） kW
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ） m ²
イ 発電容量	（ ） kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 44 ）m ☐ 地上部（ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他（ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	集合住宅
イ 熱需要対象用途	☒ 冷房 ☒ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 51.4 ）㎡
エ 概算年間熱利用量	（ 44,846 ）MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ）㎡
イ 概算年間熱利用量	（ ）MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考